

## 【水彩画クラブ27】卒業後9年目の活動 2021年4、5月

### ◇第178回活動:2021年4月12日(月) 午後1時から 又エック206室

前回まで習作してきた課題『川岸の白雪』、自宅で仕上げてきた自作品を黒板上に並べ、内ちゃん先生から「良く描けています」との画評をいただいた。



コロナ禍の中、内ちゃん先生の師匠:あべとしゆき先生がパソコンによるホームステイで課題『天龍寺のしだれ桜』の書き方を指導する状況を見せてもらった。

課題をデッサンした水彩紙全体にハケで水を空全体に塗っていき、余分な水をティッシュで拭き取ってから、筆先が針のようにすっと尖っている小筆に淡く水溶きしたローズを取り、ススッと桜の花を描いてから、直ぐに水筆で散らしていく様子だった。

あべ先生はしだれ桜の枝などを鉛筆でデッサンしていたが、内ちゃん先生の指導では PIJOT のフリクションボールペン(ペンに付いているゴム消しでこすると消える。ドライヤーで乾かしていると消えるボールペン)でデッサンをしてきた。

課題『天龍寺のしだれ桜』を描いていく1回目は、しだれ桜の花を描いていく。

#### 1. 大空を描いていく。

##### ① 空の色をつくる。

- a) 一番上の青い空色                      濃紺色を多めに水溶きしておく。
- b) その下の淡い空色                      鮮青色を多めに水溶きしておく。
- c) 屋根際の薄い空色                      黄土色に黄色を少し混ぜて淡く水溶きしておく。

##### ② 大きめのハケで空全体を上部から屋根際まで、ハケを左から右へとサーッと撫でるように、十分に水を塗っていく。余分な水をティッシュでサーッと拭き取っておく。

##### ③ 空の色を塗っていく。

###### 1) 一番上の青い空を塗っていく。

大きめの平筆に水溶きした濃紺色を含ませ、左から右へとサーッと動かして青い色を塗っていく。課題を見ながら青い空を塗っていく。

ムラや塗り残しが無いようにサーッと塗っていく。

###### 2) 中間の淡い空を塗っていく。

青い空を塗ってきた同じように大きめの平筆に水溶きした鮮青色を含ませ、青い空との境目からサーッと左から右へと動かして塗っていく。

###### 3) 屋根際の薄い空色を塗っていく。

同じく大きめの平筆に水溶きした薄い空色(黄土色に黄色を混ぜた)を含ませ、天龍寺の屋根線と左側の桜群を境にして、淡い空との境目からムラなくきれいに塗っていく。

#### 2. 桜の花を描いていく。

##### ① 桜花の色をつくる。

- a) 淡いピンクの桜色                      ピンク色を淡く水溶きしておく。

- b) 淡い紫がかかった桜色      ピンク色に少し濃紺色を混色して、淡く水溶きしておく。
- c) オレンジっぽい桜色      ピンク色に少し橙色を混色して、淡く水溶きしておく。
- d) 黄色っぽい桜色      ピンク色に少し黄色を混色して、淡く水溶きしておく。

② 課題写真を見ながら桜花を描いていく。

- 1) 筆の先端で桜花を描くので、先端が尖っている中筆を使って描いていく。

中筆にa色を含ませ、課題を見ながら垂れている枝の桜花をチョンチョンと描いていき、直ぐに水筆で先端を散らしていく。

- 2) 濃く見える桜花にはb色を中筆に取り、筆先でチョンチョンとつけて描いてから水筆で散らしていく。

- 3) 課題を見ながら、垂れ下がる枝の間に見える薄い桜花などはc色やd色で桜花を描き、水筆で散らしていく。

※ 今日の活動は桜の花を描いている途中で終了した。

各自残りの桜の花を自宅で描いてくることになった。フリクションボールペンで描いてきた枝の桜花だけではなく、細かい枝や霞んで見えない枝にある、点々と見える桜花も課題写真を見ながら描いていく。

2. 次回(4月26日(月))の活動予定      又エック研修棟/206室

次回の活動では、淡い目に描いてきた桜花を仕上げていく。

◇第179回活動:2021年4月26日(月) 午後1時から 又エック206室

埼玉県と千葉・神奈川県に新たに”まん延防止対策措置”が発出された。又エックの宿泊施設を埼玉県に4月から7月まで延長された。

冒頭に内ちゃん先生から、あべとしゆき先生の新しい習作本【水彩画光のアンサンブル】(¥2,420)が紹介された。

内ちゃん先生のパソコンで、あべ先生の『天龍寺のしだれ桜』を描いていく指導状況の画面を見ていく。実況中継のように、あべ先生が鉛筆でデッサンした水彩紙に描いていく様子だった。

この画面を自分のスマホやパソコンで見ることが出来るアドレスの取り込み方を説明された。

課題『天龍寺のしだれ桜』を描いていく2回目は、天龍寺屋根上のしだれ桜の花と、左側の小さな森を描いていく。

1. 桜の花を仕上げていく。

① 桜花の色をつくる。

- a) 淡いピンクの桜色      ピンク色を淡く水溶きしておく。
- b) 淡い紫がかかった桜色      ピンク色に少し濃紺色を混色して、淡く水溶きしておく。
- c) オレンジっぽい桜色      ピンク色に少し橙色を混色して、淡く水溶きしておく。
- d) 黄色っぽい桜色      ピンク色に少し黄色を混色して、淡く水溶きしておく。

- ② 課題を見ながら、小筆に夫々の桜色を取り、濃い目に見える花や影のように見える花に塗っていく。

- ③ 桜花を仕上げた後、太めの枝や細い枝を描くように塗っていく。

- 1) 枝の色をつくる。

木灰色に少し焦げ茶色を混色し、水溶きしておく。

- 2) 水溶きした枝色を小筆に取り、デッサンしてきた太い枝や細い枝を描くように塗っていく。

- 3) 左上角から垂れている太い枝は、上の方が陽が当たって緑っぽく見えているので、中程から下側を黒い枝色で描くように塗っていく。

陽の当たっている部分に、淡い目に水溶きした暗緑色を小筆に取り、描くように塗っていく。

- 4) 細い線のような枝は、黒っぽい枝色を小筆に取り、フリクションボールペンでデッサンしてきた枝線をなぞるように描いていく。

2. 左側下の角に見える小さな森を描いていく。

① 小さな森の桜色と緑の廃炉をつくる。

- a) ピンクの桜色      ピンク色を淡く水溶きしておく。
- b) 緑の葉っぱ色      暗緑色を淡い目に水溶きしておく。

- ② 上から小さな森へ垂れ下がっている枝についている桜花を、マスキングペンで描くようにマスキングしていく。マスキングインクをドライヤーで乾かしてから、

- ③ 中筆にa色の桜色を中筆に取り、小さな森の上部分と下側を少し残してスーッと塗っていく。

- ④ b色の葉っぱ色を別の中筆に取り、上部に見える木の先を描いていく。

同じb色を中筆に取り、小さな森の下部の緑を描いていく。

※ 今日の活動はここまでで終わった。

3. 次回(5月9日(日))の活動予定      又エック研修棟/206室

次回は天龍寺を描いていくので、天龍寺前に垂れ下がるしだれ桜の花にマスキングを施してくる。

◇第180回活動:2021年5月9日(日) 午後1時から 又エック206室

次回からの課題が、あべとしゆき先生の『水彩画 光のアンサンブル』に掲載されている”習作作品”を描いていくので、その指導されるテレワーク画面に入る操作手順が説明された。

- ① スマホを使い、ユーチューブアドレスから入る操作手順を説明された。
- ② パソコンで URL 入力から入る操作手順を、パソコンを開いて説明された。

課題『天龍寺のしだれ桜』を描いていく3回目は、天龍寺全体を描いていく。天龍寺は成るべく淡い目に描いていく。自宅で、建物前に枝垂れ下がる桜花と、軒先下に一定間隔で見える白い口にマスキングを施してきた。

#### 1. 天龍寺の屋根と正面を描いていく。

- ① 屋根の形と建物正面の様子をフリクションペンで課題を見ながら描いていく。
- ② 屋根や建物正面の色をつくる。
  - a) 屋根の色 青色に暗緑色を混色し、淡い目に水溶きしておく。
  - b) 屋根庇と正面板壁の色
    - 紅い色 バラ色にオレンジを混色し、淡い目に水溶きしておく。
    - 板壁の色 青色に焦げ茶色を混色し、多めに水溶きしておく。
    - 一番下の壁 黄土色を淡い目に水溶きしておく。
- ③ 屋根を描いていく。
  - 1) 湾曲している瓦のスジや重なる瓦の横筋などを、少し濃い目に水溶きしたa1路を細い小筆に取り、課題を見ながら描いていく。
  - 2) 同じ少し濃い目のa色を細い小筆に取り、てっぺんの大棟に見える黒い横スジを描いていく。
  - 3) 淡い目に水溶きしたa色を丸い大筆に取り、湾曲している屋根を意識して課題を見ながら上から下部へ塗っていく。
- ④ 屋根庇を描いていく。
  - 1) 焦げ茶色の水彩色鉛筆で、黒く見える屋根際と下部をスーッと塗るように描いていく。
  - 2) 紅く見える所に、課題を見ながら紅い色を小筆に取り塗っていく。
- ⑤ 正面板壁全体を描いていく。
  - 1) 板壁の黒っぽく見える柱と横木を、焦げ茶色の水彩色鉛筆で擦るように描いていく。
  - 2) 板壁全面を塗っていく。

青色に焦げ茶色を混色してつくった色を大きめの丸筆に取り、左端の屋根下から、右端の板壁まで横に筆を動かしながら塗っていく。

右側に見える木は描かない。また、左角に見える屋根際は三角形に開けておく(桜を描いていく)塗ってきた全体をドライヤーで十分に乾かしてから、マスキングしている所をきれいに剥し取っていく。

※ 今日の活動はここまでで終わった。各自次回まで仕上げてくる。

#### 2. 次回(5月24日(月))の活動予定 ヌエック研修棟/206室

次回の課題写真『冬の雲と山』が配られた。

準備してくること。

- 1) 手本用の写真(B4判タテ形)2枚を接合部で貼り合わせ、手本台をつくる。
- 2) 水張りしたF6のウォーターフォード水彩紙にデッサンする。

次回はドライブラシ技法で描いていく練習をしていくので、F6サイズの水彩紙を用意していく。水墨筆のような削用筆を用意していく。